

リサイクル探訪

紙製容器包装編

段ボールに生まれ変わるよ!

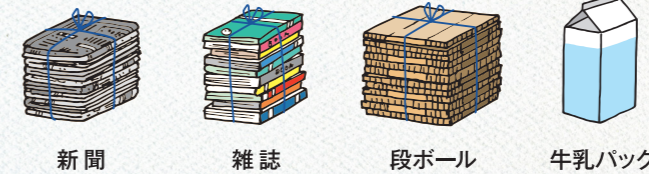
紙箱や包装紙のゆくえを追いかけて、
今回は、紙のリサイクル工場に行ってきました。



注意!!

紙と分別区分が異なります

分別ルールは市町村によって異なるので、注意してください



新聞や雑誌は紙と別に出しています



紙製容器包装とは...

商品が入った容器、商品をつむむ包装のうち、主として「紙」でできたものを、「紙製容器包装」といいます。たとえば、お菓子の入った紙箱、商品を入れる紙袋などが代表的なもので、紙が目印です。



中身は残さず、さっと中をきれいにして出るのが、ごみ出しの基本ルール!!



洗剤や線香などの臭いのついたものは、除去します



捨てちゃうの?



いいえ。固形燃料の原料になります。紙は、すべてムダなく活用できるのですよ



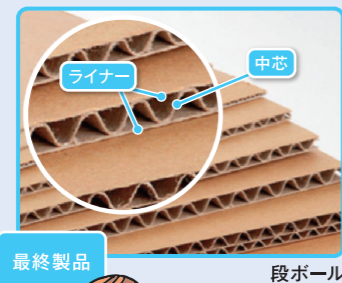
市町村から紙製容器包装を引取り

① 手選別

② ベール品

段ボールメーカーへ出荷

段ボールの原料には、回収された紙や段ボールなどの古紙が90%以上使われています

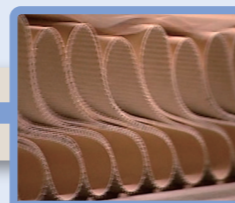


最終製品

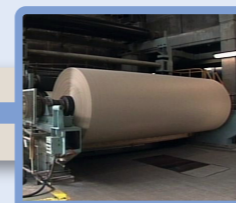
段ボール



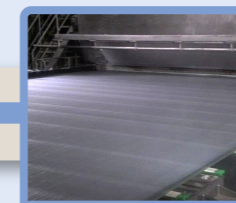
⑥ のりづけ



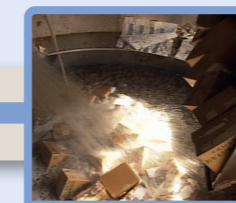
⑤ カット



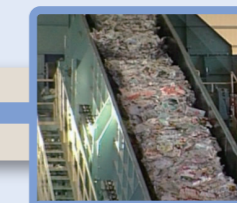
④ 段ボール原紙の完成(板紙)



③ 紙の層をつくる



② 水に入れて溶かす



① 機械に入れる

出来上がった「板紙」は、段ボールの中芯やライナーに利用されます



網の上に広げ、水分を搾った後、ドライヤーで乾燥するんですって。うーん、熱気むんむん!!



さあ、ここからが、紙に生まれ変わる工程だね。大きな機械が続いているなあ



再商品化工程 再商品化製品利用工程